

高越小学校の取組

1 研究主題について

高越小学校 令和3年度研究主題

豊かな学びが子供の未来をつくる体育学習
－「おもしろいコト」の共有から学びをスタートする授業づくり－

主 題

豊かな学びが子供の未来をつくる体育学習

徳島県では、「豊かな学び」について、体育学習の中で教科横断的な視点に立った資質・能力を豊かに発揮している学びとし、さらに、「見通しをもって」学習に参加し、「新たな価値」を見出し、「仲間と関わりながら」課題解決に挑戦しようとする学びとしている。

本校では「見通し」をもつこととして、学習導入時には「おもしろいコト」の共有を図ること、その後の学習展開では、自己の課題が分かること、課題の解決方法が分かることと捉える。また、「仲間と関わる」いわゆる協働的な学びの中で、「新たな価値」を見出すことができるのではないかと捉え、実践する。

このような学びを通して、子供が生涯にわたってスポーツに関わること、生涯にわたって健康な生活を送るための体育科の目標を達成する（「子供の未来つくる」）ことを目指していく。

副 主 題

『「おもしろいコト」の共有』から学びをスタートする授業づくり

徳島県では、運動の本質的なおもしろさとは、「その運動を成立させるもの」であるとし、「おもしろいコト」とは、「その運動に夢中になる出来事」としている。単元の導入時に「その運動に夢中になる出来事」を味わえる活動を行うことで、その運動を「もっとやってみたい」という意欲や「自分もできるかもしれない」という自分への期待をもち学びを始めることができるであろう。さらに、どの子も今ある力で参加できる場や環境を設定することで、「これから学習するのはこういうことだ」という『「おもしろいコト」の共有』を図ることができるであろう。

子供たちが同じ意識をもち、協働的に学ぶ中で、子供の課題解決に効果的な支援を行うことで、体育の培いたい資質・能力を発揮した豊かな学びにつながると考え実践する。

2 研究の仮設

- (1) 単元の導入で「夢中になれる出来事」を体験することにより、「『おもしろいコト』の共有」が図られ、課題解決の意欲が生まれるのではないか。
- (2) 子供の学びの状況を適切に把握し、協働的な学びを促す支援を行うことで豊かな学びにつながるのではないか。

3 研究内容

- (1) 「『おもしろいコト』の共有」を図るための支援
 - ① どの子ども夢中になれる場の設定
 - ・「おもしろいコト」の具体化
 - ・実態から想定されるつまずきへの対応
 - ② 子供の実態に応じた「問い」の提示
 - ・見通しがもてる導入時の「問い」
 - ・こだわりをもって課題追求する単元を通した「問い」

- (2) 子供の実態把握と協働的な学びを促す支援
 - ① 実態把握の方法と効果的な活用
 - ・導入時、学習展開時における事前調査の活用
 - ・学習の振り返りから見取る子供の学びとその活用
 - ・ユニバーサルデザインの視点
 - ② 子供の実態や学びの状況に合った協働的な学びの支援
 - ・子供の学びに応じた課題解決の場の設定
 - ・自己選択、自己決定を促す情報提供の工夫
 - ・学びをつなげ、子供をつなげるための学習言語の共有